

学校だより

No. 5

創造芳泉

～ いきいき わくわく 楽しい学校 ～



令和 4年 9月 30日

岡山市立芳泉小学校・ひばり分校

<http://www.city-okayama.ed.jp/^hosens>

<http://www.city-okayama.ed.jp/^hibaris>

4年生山の学校

～自律・協力・友愛・奉仕～



9月14日・15日が1班、15日・16日が2班と、2つの班に分かれて2年ぶりに1泊の山の学校を実施しました。

自律・協働・友愛・奉仕の心を育むことを目指して、ネイチャーワーク、空港ナイトハイク、谷川体験などの活動に臨みました。

<入所の集い>

山の学校と言えば「入所の集い」です。クラスのみなが心を一つにして火をおこし、その火を退所の時まで大切に灯すのです。「みんなが心を一つにするとたいへんなことも乗り越えられる」という「協働」「友愛」の心が高まりました。



<ネイチャーワーク>

14日と15日は真夏のような日差しでした。その暑さの中、日応寺の自然を体験しながら山の中を歩きました。地図を片手にみんなで相談しながら進むのですが、時として道に迷うことも。「そっちじゃねえ」「こっちかも」と友達同士で意見交換しながら進みました。

途中でしんどくなった人もいましたが、「自分を信じ、最後まで歩き切ろう」と心に決めて、仲間と励まし合いながら少年自然の家に帰ってきました。「ネイチャーワーク」では、「自律」と「協力」の心が高まったのでした。

<空港ナイトハイク>

夜は「空港ナイトハイク」。とっぴりと日が暮れ、山の学校が暗闇に包まれた頃、岡山空港に向けてナイトハイクがスタートしました。懐中電灯をつけてみんなで進んでいくのですが、日ごろ味わうことのない真っ暗な森。「ちょっとこわいなあ」と思いながら歩いた人が多かったのではないのでしょうか。

岡山空港は、様々な色のライトで滑走路が示され、飛行機が安全に着陸できるようにされていました。何とも幻想的な光の列。その光の列から飛行機が飛び立って行きました。逆に、星

のような小さな点がだんだんと大きくなり、空の向こうから飛行機が現れて空港の光の列の中に着陸していきます。

<谷川体験>

ごつごつした岩がたくさん転がっている山の中の谷川をクラスごとに上っていくのが「谷川体験」。山の中ですから冷たい水が流れてきて、それまでの暑さとは別世界。



転ばないように、ルートを選んで上っていきましました。自分でどれだけ安全なルートを選ぶことができるかがカギを握っています。「自律」の精神が問われました。

ゴールの先には、竹の管を通して冷たい水が流れ落ちていているところがありました(右の画像)。手をかざしたり、中には頭から水をかぶったりする人もいて、楽しいひと時を過ごしました。



<退所の集い>



「退所の集い」の前には、2日間お世話になった少年自然の家を、心を込めてそうじをしました。まさに「奉仕」の心が身に付きました。

楽しく、充実した山の学習はあっという間に終わりました。入所の集いのときにみんなで集めた火をそっと消して、学校に帰りました。

山の学校で身に付けた、自律・協働・友愛・奉仕の心を、これからの生活に生かしていきましょう。

お知らせ 大森市長が、芳泉小学校の授業を見に来られます(予定)

10月18日(火)の午後、大森市長と三宅教育長(三宅前校長)がご来校くださり、授業の様子を見られます。

昨年度、岡山市では第2期教育大綱によって「自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことができる子ども」を目指すことが示されました。そして、岡山市立の学校では、目指す子どもを育てるために5つの力(「活用力」「表現力」「向上心」「社会性」「人権尊重の精神」)を育む授業や取組が進んでいます。芳泉小学校でも、子どもたちの笑顔にあふれ、将来に向かって挑戦することができる学校づくりを目指して取り組んでおり、その様子を直接見ていただける機会となります。

たよりのカラー版をホームページに掲載しています。ご覧ください。